

事業の効果が少しずつ発揮されてきていると実感できるものとなっています。青果物全体につきましては、6月中旬から8月中旬までの干ばつの影響を受けまして、目標の27・81t、1千184万2千円に対し、16・99t、1千024万4千円と減少しています。

りんどうにつきましても、同様に干ばつと高温の影響を受け収穫期が前倒しとなったほか、新型コロナウイルス感染症により、国内需要の冷え込みが続く中で厳しい状況となっています。

畜産につきましては、県外からの定住者が綿羊生産による経営を開始し、素畜を導入して、来年度から本格的な事業展開が行われる見込みとなっていることから、町といたしましては必要な支援を行っていきたくと考えています。

次に、有害鳥獣被害対策についてです。ニホンザルについては、今年度より山本地方連合猟友会藤里支部と委託契約を締結し、7月から11月までの土・日を除く日において「はこワナ」の設置並びに巡回等を行ってきました。その結果、昨年は1頭増の10頭の捕獲となっています。ニホンザルによる被害は、例年同じ場所が発生しており、被害が発生してからカシや、はこワナを設置するのではなく、5〜6月頃に設置すべきとの意見もあることから、来年度以降の対策について検討しなければならぬと考えています。今年度は、はこワナによる捕獲が思うように進まず、期間内の捕獲数が少なかったことにより、期間外の捕獲について検討したところ、冬期間は、木の葉が落ち、

見通しが良くなっていることに加え、山間部の畑地等に群れて降りてくる回数が増えることから、銃による捕殺が容易かつ効果的であるとして、猟友会藤里支部において、冬期間の有害駆除を実施する予定としています。今後は、アンケート調査による被害状況を調査し、被害対策に有効活用出来るデータの整理に努めていきます。

ツキノワグマについても、ニホンザル同様に、猟友会藤里支部と委託契約を締結し、「はこワナ」の設置並びに巡回等を行っています。捕獲頭数は17頭と昨年は10頭増となっています。農作物被害は減少しています。しかしながら、学校周辺や民家近くでの出没が相次ぎ、8月7日には大沢館の下地区の民家裏に出没したことで、市街地等出没マニュアルの監視警戒レベルに相当することから、警察署、猟友会との連携により対応したところです。また、10月中旬には中学校から除雪車庫間において、子連れのツキノワグマが頻繁に出没したことから、所有者の同意を得て、同区間の民有林の除伐、枝打により、潜伏場所の解消作業を実施しており、それ以降の出没がなかったことから、一定の効果があつたものと考えています。

鳥獣被害については、ニホンザル、ツキノワグマに加えてイノシシ、ニホンジカ目の撃情報も多数寄せられていることから、町民の方々の安心・安全を守り、農作物への被害を防ぐ対策については、さらに強化が必要であると考えています。次に、開設して7年目となりました

「木の駅事業」ですが、出荷登録者は昨年より1名増え23名で、4月から11月末日まで未利用材を受け入れていています。今年は10月末現在の累計で753・17㎡の出荷があり、380万5千5百円分の地元商店で使える利用券を発行しています。

昨年同時期に比較しますと、396・88㎡、198万4千円の減となりましたが、11月出荷分の精算により、昨年と同等の実績となる見込みです。今後も事業の継続を推進するべく出荷登録者の確保に努めていきます。

### ◇ 教育関係について

藤里町義務教育学校藤里学園第2期・第3期工事の11月末日時点で全体工事の進捗率は12・17%となっています。改修工事を段階的に進めていくなかで、実施設計段階では、壁等で覆われ目視で確認できない部分に、コンクリート柱の不良箇所や、床モルタルの不具合箇所が見つかり、新たな改修工事が必要となりました。また学校からは、家庭科室のガスコンロからIHヒーターへの変更や、仮設駐車場や仮設トイレ設置の要望などが出され、児童生徒や教職員の学校生活における安全面や衛生面等に関するところでありますことから、可能な限り要望を取り入れながら事業を進めてきました。

令和2年度同様に事故など起こすことなく、引き続き学校の協力も得つつ業者と連携しながら児童の安全・安心、そして学びの確保に努めていきます。

校歌につきましては、専門的な知識を有する方に作成依頼をしています。また、校章につきましては、町民やゆかりのある方を対象に募集をいたし、応募作品4点について、「義務教育学校開校に向けた準備委員会」において、慎重に協議検討した結果、残念ながら採用を見送る事となりました。この準備委員会で話し合われた校章の今後の方向性として、現在の小・中両校の校章を活かしつつ、両校の伝統や文化、また応募していただいた方々の思いを示しながら外部に依頼することと決まりました。

校歌同様に校章につきましても今年度完成を目処に現在進めている段階であり、完成次第ご報告いたします。

昨年度コロナ禍によりやむなく中止となりました成人式につきましては、今年度の成人式を1月2日に延期することで決定し、成人代表者と協議しながら開催に向け準備を進めています。

毎日新聞社が主催し、スポーツ庁などが後援して行われた毎日カップ「中学校体力づくり」コンテストが開催され、過去最多の参加4,449校の中から、藤里中学校が文部科学大臣賞に次ぐ「日本学校体育研究連合会賞」に選ばれました。生徒が体育の授業に楽しく取り組めるよう創意工夫した指導内容や、地域社会との協力・連携によって成り立っているスキー教室が高く評価されたものである、と聞いています。ご協力下さいました皆様に感謝を申し上げます。引き続き地域の皆様のお力添えをお願いいたします。